



# Oasis meets Books

オアシス・ミーツ・ブックス

本のあるオアシス 本のある人生

2026年1月 vol.32

日頃より『Oasis meets Books (Omb)』をご覧いただきありがとうございます。最近、職員の皆さまから「Ombが読書のきっかけになった」「紹介されていた本を購入した」といった声を多数いただくようになり、編集関係者の励みになっています。

さて、一月は一年の「読書習慣」を育むのに最適な時期です。私自身も、今年は子どもとともにページをめくる時間を大切にしたいと考えています。新たな年の清々しい幕開けに、心に響く一冊を求めて、リアルやネットの書店を訪れてみませんか。

新たな本との出会いにより、皆さまの一年が彩り豊かなものになりますよう。(教育委員会 委員長:前田 吉紀)

カフェ／阿部 晓子

木下内科クリニック／看護師 古田 裕子

2025年本屋大賞を受賞した話題作です。タイトルの「カフェ」とは、ポルトガル語で「愛する人の髪にそっと指を通す仕草」を意味します。



物語は、主人公の薰子が家事代行ボランティアを通じて、料理人の「せつな」の相棒になるところから始まります。作中では、訪問先の家庭に合わせて、フランス料理から和洋中、デザートまでを短時間で仕上げていくせつなが鮮やかに描かれています。その手際の良さに、『予約が取れない伝説の家政婦「タサン志麻さん』ってこんな感じなのかな』と、想像を膨らませながら読みました。

しかし、本作は単なる料理小説にとどまりません。薰子の弟・春彦が若くして急逝し、彼の婚約者であったせつなに遺言を伝えたところ、「いらない」と拒絶される場面から、物語が大きく動き出します。

離婚、不妊、親子関係、セクシュアリティ、そして闘病……。現代が抱える多様な問題を詰め込みすぎている感は否めませんが、誰かを想う切なさも、愛されることの煩わしさや歓びも、すべてが「カフェ」という慈しみの行為に繋がっているのだと深く心に残りました。

・次回 ⇒ 木下内科クリニック／看護師 矢木 ゆうこ



燃えつきるまで／松田 宣浩

特養 オアシス寿安 生活支援課／介護士 田上 秀利

小・中・高校と野球に打ち込んできた私にとって、友人に誘われ球場で目にした松田選手の姿は衝撃的ですっかり心が奪われました。球場全体に響き渡る声で仲間を鼓舞し、

ひたむきにプレーする姿に深く共感し、それ以来ずっと、応援を続けています。大阪での試合には可能な限り足を運びましたが、観戦するたびに力をもらい、落ち込んだ日も前向きに仕事に取り組むことができました。

「どうしてあれほどまで元気よく声を出し続けられるのか」という疑問を抱き、引退後に出版された本書を手に取りました。「控えめで引っ込み思案な自分を変えたい」と模索していた時期に、常に声を張り上げて周囲を盛り立て、失敗を責めずに支えてくれる先輩選手の姿に救われたことをきっかけに、松田選手はその背中を目標に定めます。劣勢で沈滞したベンチの空気を自らの声で変えていく一

その行動と効果に手応えを感じ、より一層発声に力を注ぐようになったそうです。

私もスタッフや入所者様が前向きな気持ちになれるような挨拶や声掛けを、常に実践していきたいと強く想いました。

・次回 ⇒ 特養 オアシス寿安 生活支援課／介護士 平尾 隆司

おまえ うまそだな／作・絵:宮西 達也

老健 オアシス 衛生／浅田 淳子

ラジオで「泣ける絵本」として紹介されていたのが、この本を知ったきっかけでした。物語は、生まれたばかりの草食恐竜アンキロサウルスの赤ちゃんに、肉食恐竜のティラノサウルスが「おまえ、うまそだな」と飛びかかるとする場面から始まります。しかし、赤ちゃんは自分を「ウマソウ」と呼ばれたのだと勘違いし、彼を父親だと信じ込んでしまいました。

ウマソウの健気で優しい心に戸惑いながらも、奇妙な共同生活を送ることになったティラノサウルスは、様々な生きる術をウマソウに教えます。やがて別れの日が訪れ、離れるのを嫌がるウマソウに、彼は「山まで競走しよう」と提案しました。そして、一生懸命に駆けていく後ろ姿をそつと見届け、静かにその場を去っていくのです。

物語を聴きながら、私は思わず涙を流していました。同時に、かつての子育ての日々が鮮やかによみがえります。日中がどれほど慌ただしくても、夜の寝かしつけには必ず絵本を読み聞かせていたあの頃。布団の上で二人の子に挟まれ、物語の世界を一緒に旅した、あの満ち足りた時間が胸に溢れました。

時は流れ、今は二人の孫をひざに乗せて(腰やひざの痛みをこらえつつ)絵本を開いています。

・次回 ⇒ グループホーム オアシス平野／衛生 川内 良彦



ゾーン「勝つ」相場心理学入門／マーク・ダグラス

特養 オアシス寿安 生活支援課／柔道整復師 中村 益三

NISA(少額投資非課税制度)が導入されてから10年余りが経過し、投資はより身近なものとなりました。しかし、いざ学び始めると、誰もが多くの壁に直面するでしょう。本書は、そうした課題や疑問を抱える方にとって、確かな指針となる一冊です。

『ゾーン』という言葉と「投資」が結びつく方はどれほどいらっしゃるでしょうか。スポーツの世界でよく「ゾーンに入っている」と表現されるように、極限の集中により最高のパフォーマンスを発揮する状態を指します。私自身もその感覚を経験したことがあります、意図してその境地に達するには簡単ではありません。

ゾーンに入るためには、「明鏡止水」の心境が不可欠です。本書は、テクニク論以上に「心理状態から最良の行動を導き出す方法」を丁寧に説いており、その教えは投資のみならず、日々の生活や仕事にも大いに応用できるものです。ぜひ、時間に余裕のあるときにじっくりと向き合っていただきたい良書です。

・次回 ⇒ デイケア オアシス寿安／理学療法士 保田 知佳



## ペットが元気を連れてくる／山崎 恵子 町沢 静夫

### 介護支援センター オアシス長瀬／管理者 吉田 直美

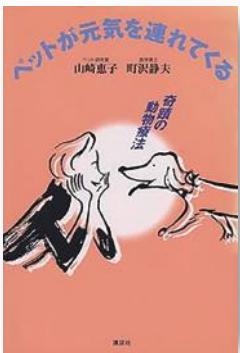
動物との触れ合いが身体や心の不調を和らげ回復へと導く、数々の事例が紹介されている本書を読み、「動物には人の心を動かす力がある」と改めて強く実感しました。

中でも、寝たきりの高齢者が犬との交流を通じて笑顔を取り戻していく場面は、深く胸に刻まれました。薬では決して生み出せない「生きる力」を、動物たちが自然に引き出していく光景に、大きな感動を覚えずにはいられません。

私自身も、「ふわっ」「ぱよん」とした動物の何気ない

仕草や表情に救われている一人です。仕事や人間関係で気持ちが沈む日も、帰宅してペットが嬉しそうに傍に来てくれると、張り詰めていた心がふと軽くなります。励ましの言葉をかけてくれはしませんが、無防備に「ぱよん」と寝転ぶ姿を見るだけで、「明日もまたがんばろう」と活力が湧いてくるのです。

ペットが人に癒しを与えるだけでなく、人また惜しみない愛情を注ぐ。その温かな循環こそが、互いの心を豊かにするのだと感じました。言葉は通じなくとも、ぬくもりや仕草から伝わる安心感には計り知れない力があります。私も動物たちのように、そっと元気を届けられる存在でありたい—そんな思いを新たにしました。



・次回⇒ヘルパーステーション オアシス／サービス提供責任者 田路 美幸

## 王様ランキング／十日 草輔

### 老健 オアシス リハビリ／理学療法士 上芝 真凜

この漫画の主人公は、耳が聞こえず言葉も話せない王子・ボッジ。非力ゆえに国民からも侮られてきた少年が、影一族の生き残りである「カゲ」と出会い、初めて心から自分を信じ応援してくれるかけがえのない存在を得て、世界一の王様を目指して歩んでいく成長の物語です。

父王の崩御をきっかけに、王位継承を巡る陰謀や呪いが渦巻く中、彼は自らの弱さと向き合い、独自の戦い方を模索しながら「真の強さ」を求めるだけです。本作の最大の魅力は、「強さとは何か、弱さとは何か」という根源的なテーマを丁寧に描き、優しさと切なさが深く胸に刻まれる点にあります。

登場人物それぞれが抱える葛藤や絆は幾重にも重なり、単なる冒險物語を超えた深い感動を呼び起します。努力や友情を真っ直ぐに描いた物語が好きな方には、ぜひ手に取っていただきたい一冊です。

ちなみに本作はアニメ化されており、映像美がとても素晴らしいので、そちらも併せてご覧になることをおすすめします。



・次回⇒老健 オアシス 事務管理課／課長 井本 泰生

## 編集後記

新年あけましておめでとうございます。これまで220名を超える方々から、「大切な一冊」を紹介いただきました。今回取り上げられた『王様ランキング』は、私が「いつか、2巡目が来たら選ぼう」と心に決めていた3冊のうちの1つです。私はアニメを視聴しましたが、心に深く突き刺さる言葉が随所に散りばめられています。これから触れる方

## ツナグ／辻村 深月

### 老健 オアシス 入所介護／介護士 須藤 花音

中学生の頃に出会って以来、今もなお心に深く刻まれている一冊です。

「一生に一度だけ、死者と会わせてくれる案内人」という設定のもと、人が誰かを想う気持ちの重さや、伝えられなかった言葉の温度を静かに描き出しています。再会を望む理由は人それぞれですが、その瞬間に真剣に向き合うことで、遺された人々が少しずつ前へ進んでいく姿が強く印象に残りました。

読後には切なさと優しさが入り混じった余韻が広がり、「長い人生で訪れる数々の出会いと別れの末に、私は誰との再会を願うのだろう」と考えさせられます。同時に、だからこそ、今この瞬間を大切に積み重ねていきたいと感じました。

ひとつひとつの再会は、たとえ短くとも濃密で、人生における「後悔と希望」の輪郭をそっと照らしてくれる——それを気づかせてくれた、いつまでも心に残る物語です。



・次回⇒老健 オアシス 入所介護／介護士 倉本 竜帆



右:須藤さん

## オアシス文庫 recommend



### 死ぬまでに行きたい！世界の絶景

詩歩

日本を含む世界各地の息をのむような絶景写真が満載の本書に、旅行が好きな方はもちろん、そうでない方でも「こんな場所が本当にあるの!!?」と驚かされます。また、現地へのアクセス方法やベストシーズン、予算の目安、旅先での注意点など、実用的な情報も詳しくまとめられています。

あまり本を読まず、旅好きでもない私ですが、鮮やかな写真に惹かれて解説を読み進めるうちに、まるでその地を訪れたような気分になり、気づけば「実際にやってみたい」という思いが芽生えていました。

タイトルの通り、まさに「死ぬまでに行きたい」と思ってくれる一冊です。巻末の「絶景ランキング」もかなり見応えがあります。この機会にぜひ手に取って、美しい風景を心ゆくまで鑑賞してください。

(教育委員会:森生 将行)

老健・特養寿安・支援長瀬の  
「オアシス文庫」から貸し出しできます▶



**oasis**

教育委員会

(教育委員会:中島美和子)